

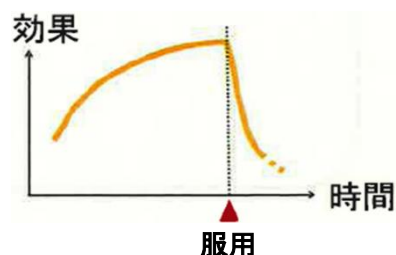
安定ヨウ素剤についての説明書

- ◆ 放射性ヨウ素による甲状腺の内部被ばくを予防・低減するために、安定ヨウ素剤を配布します。
- ◆ 安定ヨウ素剤は、服用後、約 24 時間内に体内に入った放射性ヨウ素が甲状腺へ取り込まれるのを抑制します。
- ◆ 安定ヨウ素剤は、外部被ばくや放射線ヨウ素以外の放射性物質には全く効果がありません。
服用後も、避難や一時移転、屋内退避を続けてください。
- ◆ 配布を希望されない場合は、配布員にお伝えください。

安定ヨウ素剤の服用について

① 安定ヨウ素剤は服用するタイミングが重要になります。
国、県または市町から 指示があったタイミング で服用してください。

② 1人1回分を配布しますので、配布員に年齢を伝えてください。
各年齢の服用量は以下のとおりです。



服用量（1人1回分）

生後1ヶ月未満	ヨウ化カリウム内服ゼリー 16.3mg	1包
生後1ヶ月以上3歳未満	ヨウ化カリウム内服ゼリー 32.5mg	1包
3歳以上13歳未満	ヨウ化カリウム丸 50mg	1丸
13歳以上	ヨウ化カリウム丸 50mg	2丸

※40歳以上の方は、服用する必要性は低いとされております。

※3歳以上の方で丸剤が服用できない方は、内服ゼリーを指示どおり服用してください。

安定ヨウ素剤が服用できない方

下記に該当する方は、健康上 安定ヨウ素剤を服用できませんので 配布員にお伝えください。

- ◇ 安定ヨウ素剤の成分またはヨウ素（うがい薬のポビドンヨード液や喉消毒薬のルゴール液に含まれます）に対してアレルギーがある方

未成年者・妊娠している方・授乳中の方

未成年者（新生児含む）や妊娠している方、授乳中の方は服用を優先すべき対象者です。

- ◇ 年齢が低いほど放射性ヨウ素による内部被ばくのリスクは高くなります。
- ◇ 副作用のリスクよりも、服用しないことによるリスクの方が大きいです。
- ◇ 授乳者の方は、安定ヨウ素剤服用後、出来る限り授乳を避けてください。
（※断乳できない場合は、避難先の自治体職員に相談してください。）
- ◇ 妊娠している方、授乳中の方、新生児は服用後の経過観察が必要となります。
医師や薬剤師、あるいは所定の相談窓口までご相談ください。

裏面の説明も必ず読んでください。

服用上の注意

以下の方は、安定ヨウ素剤の服用に注意が必要ですが、
国等の指示に従った服用量であれば健康影響が生じる可能性は極めて低いです。

① 下記の病気になったことがある方

甲状腺の病気（甲状腺機能亢進症、低下症）、腎臓の病気や腎機能障害、
先天性筋硬直症、高カリウム血症、肺結核、ヨード造影剤過敏症（造影剤アレルギー）、
低補体血症性蕁麻疹様血管炎、ジューリング疱疹状皮膚炎

② 下記のお薬を飲んでいる方

- ・ カリウム含有製剤【体内にカリウムを補充するお薬】
- ・ リチウム製剤【双極性障害（躁うつ病）のお薬】
- ・ 抗甲状腺製剤【甲状腺の機能を低下させるお薬】
- ・ ACE阻害剤、アンジオテンシンⅡ受容体拮抗剤

安定ヨウ素剤の副作用

安定ヨウ素剤の服用により副作用が生じる可能性は極めて低いです、
服用後に下記の症状が出た場合は、自治体職員や医師・薬剤師に相談してください。

- ◇ 過敏症 ・ ・ ・ 発疹 など
- ◇ 消化器系の症状
 ・ ・ ・ 悪心・嘔吐、胃痛、下痢、口腔・のどの灼熱感、金属味覚、
 歯痛、歯肉痛、血便（消化管出血）など
- ◇ その他の症状
 ・ ・ ・ 甲状腺機能低下症、頭痛、息切れ、かぜ症状、不規則性心拍、皮疹、
 原因不明の発熱、首・咽喉の腫脹 など

◎ 安定ヨウ素剤の成分

丸剤：ヨウ化カリウム、カンゾウ末、センブリ末、トウモロコシデンプン、グリセリン、セラック

ゼリー剤：ヨウ化カリウム、カラギーナン、カロブベーンガム、ポリアクリル酸ナトリウム、グリセリン、
D-ソルビトール、サッカリンナトリウム水和物、クエン酸ナトリウム水和物、
クエン酸水和物、パラオキシ安息香酸プロピル、香料